

クロス・カルチュラル・カレッジ(CCC)公開フォーラム 『若手グローバル人材育成における産学連携』

近年、海外に事業を展開する企業が増加し、グローバル人材の確保・育成は喫緊の課題である。しかし、予算や海外ネットワークの不足等の課題は多い。こうした中、関西学院大学では、国内外の企業の協力を得、グローバル人材育成の実践的なプログラムを実施してきた(2011年度 文部科学省世界展開力強化事業採択事業)。

カナダの名門3大学(マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、トロント大学)と協働し、日加学生が寝食を共にしながら、企業や社会が抱える課題について考える約2週間の英語で行う実践的なプログラムを提供し、既に100名を超える学生が、実践スキル等を学び、企業や政府関連機関から高い評価を得ている。

本フォーラムでは、関学大の取り組みについて紹介するとともに、若手グローバル人材育成における産学連携について意見交換する。パネルディスカッションや情報交換会も予定。

※一般参加可、無料、申し込み必要

■日時: 2015年1月20日(火)13時~17時10分

■場所: 大阪梅田キャンパス(アプローチタワー10階)1004号室

■基調講演: 『若手グローバル人材育成における産学連携』

■講演者: 日東電工株式会社上席執行役員 山本 敏夫氏(関経連グローバル人材活用研究会元座長)

■企業講演①: 『企業から見たGlobal Internship』講演者: 小松 俊彦氏(住友ゴム工業株式会社 執行役員 人事総務部長)

■企業講演②: 『企業から見たGlobal Career Seminar』講演者: ジャファー・フセイニ氏(株式会社バイオシーン・インフォマティクス パートナー)

■問い合わせ先: 国際教育・協力センター(0798・54・6046)

■申込方法: 下記からお申込みください。

<http://www.jotformpro.com/form/43377821572965>

震災復興関学化学フォーラム あれからもう 20 年

理工学部化学科は阪神・淡路大震災当時、当時の理学部化学科(西宮上ヶ原キャンパス)に在籍していた、学生・院生・博士研究員で現在も精力的に研究活動を行っている方々を集め、下記のとおりフォーラムを開催する。

震災当日は修士論文提出日であったため、多くの学生が研究室で執筆していた。本フォーラムでは当日研究室にいた3名も登壇。当時の様子などのエピソードを交えて現在の研究活動について語る。

※一般参加可、懇親会有(無料)、申し込み不要。

■日時: 1月24日(土)13時~

■場所: 神戸三田キャンパス IV 号館 401 号室

■登壇者: 盛田 伸一・東北大学准教授、溝口 正・立命館大学准教授、西井 良典・信州大学准教授ほか4名

■問い合わせ先: 理工学部化学科田辺陽教授 (079・565・8394)

女性難民学生が起業！ ～日本とベトナムの企業 進出を支援～



国際学部4年生でベトナムからの難民学生の Doan Thy Trang(ドアン ティ チャン)さん(25歳)は1月9日、「株式会社Thy Trang(ティ チャン)」を立ち上げた。

日本企業やベトナム企業が両国に進出する支援や輸出入コンサルティングなどを行う。

チャンさんが1歳の時、父親は家族をベトナムに残して日本に逃れた。その後、父親は難民として認められチャンさんが16歳の時、母親と姉と一緒に日本に呼び寄せられ、難民定住者となった。チャンさんは東京で約半年間、日本語研修や生活指導等を受けたのち、明石市で生活を始める。慣れない環境の中、地元の中学・高校を経て、関学には難民推薦入試制度を利用し見事合格。奨学金を受けながら通学している。



国際学部では、会計の面白さに魅せられ、ゼミでは有価証券報告書の比較などを通して経営について学んできた。卒業論文のテーマは「ベトナムの対日投資政策」で、中小企業数社へのヒアリングも重ねた。NPO法人関西社会人大学院連合アジアビジネス研究センターのアシスタントも務め、通訳者として日本企業のベトナム視察に同行した経験も。ベトナム語はもちろん、日本語も流暢で、現在は英語、中国語の検定試験に合格し、朝鮮語にも取り組んでいる。次第に学んだ知識を生かして、自立して働き、日本とベトナムの架け橋になりたいと考えるようになった。

起業初日は新規の問い合わせが2件入った。しばらくは自宅を事務所にし、飛び込み営業もする予定。

「日本にきてたくさんの方々のお支えがあってここまでこれました。日本とベトナムの両国の考え方を理解しているからこそ、私ならではのビジネス支援ができると思っています」と意気込む。将来は、ベトナムに日本語学校を作り、ベトナム人が日本で働きやすい環境を提供するのが夢。